

## 臨床研究に関する情報公開

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針＞に基づき、研究の実施について下記のとおり情報を公開します。

研究結果は学会等で発表される事がありますが、その際も個人を特定する情報は公表しません。

★本研究の対象となられる患者さんで本研究にご賛同いただけない方や、研究計画、研究方法、または個人情報の取扱いなどについてお問い合わせがある場合は、下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★研究不参加を申し出られた場合も、不利益を受けることはありません。

全国胃癌登録 ； 日本胃癌学会登録委員会

### ＜研究機関・究責任者名＞

日本大学医学部附属板橋病院 消化器肝臓内科 （研究責任者）岩本 真帆

### ＜研究期間＞

承認日 ～ 西暦 2018 年 9 月 30 日

### ＜研究の目的と意義＞

我が国の胃がん罹患数は、年間約 13 万人と推定され、各種臓器癌のなか で第 3 位です。年齢訂正罹患率は年々僅かずつ減少していますが、総数は人口の高齢化のため増加しています。死亡率も徐々に低下しているものの、現在、肺 癌、大腸癌に次いで第 3 位となっております。胃がん全国登録は、1963 年から 50 年 間にわたり続けられてきました。日本胃癌学会では、全国主要施設からの胃がん患者に関する詳細 なデータを収集し、これを統計的に分析しています。本研究の目的は、この 膨大なデータの解析によって、我が国の胃がんの経年的な病態の変化、診 断法、治療法の進歩とその成績などを明らかにすることです。この基礎 的・臨床的な分析の結果から、胃がんの生物学的特性などの基礎的問題の解明と、現時点での最良の診療指針を探求が可能となり、これによって胃癌制圧に貢献することが目的です。

### ＜対象となる患者さん＞

2011年1月1日～2011年12月31日までに早期胃癌の診断でESD治療を受けられた患者様

### ＜研究の方法＞

1)登録施設名、診療科科名 2)個人情報(ID 番号,患者氏名, 性別, 生年月日, 転帰時年齢, 手術時年齢)登録事務局に提出されるエクセル書き出しデータには、ID 番号、患者氏名、生年月日は「XXXXXX」で、「転帰時年齢」は「XX」で書き出される。3)性別 4)内視鏡切除施行日 5)内視鏡施行時年齢 6)生死 7)死因  
8)再発の有無 9)再発種類 10)再発年月日 11) 再発に対する治療 12) 異時性多発胃癌の有無 13) 異時性多発胃癌確認年月日 14) 異時性多発胃癌治療 15)ピロリ菌感染の有無 16)ピロリ菌陽性の場合 除菌について 17)最終生存年月日 18)生存期間 19)生存日数 20)生存月数 21)当該病変の治療歴 22)胃の 3 領域区分(長軸) 23)胃壁の断面区分(周在性) 24)胃の状態 25)内視鏡切除方法 26)切除数 27)偶発症 出血による緊急手術の有無 28)偶発症 穿孔による緊急手術の有無 29)最終診断 組織型 30)最終診断 肉眼型 31)最終診断 深達度 32)最終診断 腫瘍径 33)最終診断 リンパ管侵襲 34)最終診断 静脈侵襲 35)最終診断 UL の有無 36)最終診断 水平断端 37)最終診断 垂直断端 38)後治療についての登録を行います。

### ＜お問い合わせ窓口＞

日本大学医学部附属板橋病院（東京都板橋区大谷口上町 30-1）

消化器肝臓内科 氏名：岩本 真帆

電話：03-3972-8111 内線：(医局) 2 4 2 4 (PHS) 8 0 8 5